

町政を問う

農業は基幹産業であるべき！



幸本 元

農業の位置づけを基幹産業に

統一すべきでないか！

基本的な考えは変わっていないが、言葉の意味も教訓にする

水を生かした地域の活性化や

振興策を考えてはどうか！

環境保全として応援するが、水を利用した活性化策は考えない

幸本 三月議会で総合計画における後期基本計画の農業の位置づけを基幹産業に統一すべきと指摘したが、統一できていない。農業は人間が生命を維持して行くための欠くことのできない基本的な産業で、今、農業に力を入れておかないと私達の食を失うことになりかねない。生産性、収入面において非効率な面が強調され、軽視されている傾向がある。食料確保の基幹産業として対策に力を入れるべきと思うが、見解を伺う。

産業課長 基本構想を「基幹産業」とし、基本計画が「主産業」という表現をしている。

幸本 主産業とは、主要な産業という意味になり、基幹産業とは産業の基礎

となる産業という意味になる。農業は食の問題だけでなく国土の環境保全にも大きく貢献している。国土を守る上からも農業は重要な産業であることから、基幹産業として捉え続けたいといけな

いと考える。

町長 言葉の意味もあるということも教訓にして、現場を重視し、改革が必要な産業として支援し具体的施策に力を入れる。

幸本 農業は食生活と環境保全の面からも決しておろそかにできない問題である。国際化、自由化の流れの中で今のままで存続していけない。農業の多角化により生産性を向上させるための自立策を考え、自給率を上げるためにも基幹産業とすべきである。

地蔵滝の泉を活用した活性化と活用策について

幸本 地蔵滝の泉から湧き出る水は年間を通して十一度に保たれ、日量十九・四万トンにもなります。この貴重な水、財産を地域の活性化に生かさないのは非常にもったいない。伯耆町の水を生産化し、広く町内外に販売することにより、地域の活性化と共に知名度を上げ伯耆町をアピールすることになるが所見を伺う。

町長 水利権など問題が考えられるので、進めるのは難しい。

幸本 この水が存在するのは長い歴史の中で、地元で森林保全活動によるもので、今、その恩恵を受けている。近隣では、

水くみ場を設置され、にぎわっています。地蔵滝の泉からガーデンプレイス付近にポンプアップし水くみ場を設置し、付近の活性化に繋げてはどう

か。

町長 費用対効果を考えて、そこまでしなくても良いのではないか。

幸本 地域の方の声もあり、検討してほしい。



地蔵滝の泉